Japan Geoscience Union Meeting 2012
(May 20-25 2012 at Makuhari, Chiba, Japan)
©2012. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.

ACG36-14 会場:103 時間:5 月 21 日 14:30-14:45

国立環境研究所・地球環境研究センターにおける地球環境データベースの運用
A Global Environmental Database Project at the CGER in National Institute for Environmental Studies

中島 英彰 [1*], 白井知子 [1], 曾継業 [1], 眞板英一 [1]
NAKAJIMA, Hideaki[1*], SHIRAI, Tomoko[1], ZENG, Jiye[1], MAITA, Eiichi[1]

[1] 国立環境研究所
[1]National Institute for Environmental Studies

我々、国立環境研究所・地球環境研究センター・地球環境データベース推進室では、2000 年初頭から地球環境に関連した様々なトピックに関連したデータベースの構築とデータ提供を行ってきている。我々の業務は、以下の 5 つに分類される。1) データを提供するデータベースサーバーの構築と維持・運用・更新。2) 我々の研究所の様々な地球環境モニタリングプロジェクトで得られたデータの、一般利用者及び科学者への提供。3) 地球温暖化に関連した社会環境科学データーベースの構築とデータ提供。4) 地球環境データを用いた解析に用いる、様々な解析ツールの開発。5) データベースに関連した国際協力体制の構築。

現在、我々は以下に述べるようなデータベースを運用し、データ提供を行っている（カッコ内の数字は、データベースの件数）。A) 地球温暖化に関連したデータベース：温室効果ガス観測データ関連（7）、二酸化炭素の吸収量・放出量関連（8）、マテリアルフロー関連（10）、地球温暖化の影響と対策関係（3）。B) 大気環境に関連したデータベース：成層圏オゾン層・UV 関連（6）、大気質・酸性雨関連（10）、粒跡線解析関連（1）。C) 湖沼・海洋環境に関連したデータベース（8）。D) 生物に関連したデータベース（3）。E) 衛星リモートセンシング・GIS に関連したデータベース（7）。F) 国際協力に関連したデータベース（7）。G) その他のデータベース（6）。

これら、国立環境研究所・地球環境研究センターが管理するデータベースの概要と将来計画、また昨年のから始まった、DIAS/GRENE プロジェクトとの関連について発表する。

キーワード: データベース, 地球環境, 地球温暖化, オゾン層, DIAS, GRENE
Keywords: database, global environment, global warming, ozone layer, DIAS, GRENE